

# お知らせ

INFORMATION

No.2022-16  
2022年5月  
病体生理研究所

## 単純ヘルペス DNA 患部ぬぐい液 採取容器の変更について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は当研究所をご利用頂きまして誠に有り難うございます。  
この度、検査実施先の新前処理機器採用に伴う変更により、単純ヘルペス DNA  
患部ぬぐい液専用容器を変更させて頂きまますのでご案内致します。  
何卒ご了解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

### 【単純ヘルペス DNA 患部ぬぐい液専用容器の変更】

- ◆ 採取方法・詳細は裏面をご参照下さい。
- ※ 現容器がなくなり次第順次新容器の出荷となります。
- ※ 検査方法・基準値に変更はありません。

		単純ヘルペス DNA 患部ぬぐい液 新容器	旧容器
コード 13018  検査案内 掲載頁 P.83 P.130  検査 実施先 S	容器番号	59.単純ヘルペス DNA 用	59.単純ヘルペス DNA 用
	添加剤	なし	SDS EDTA-2Na
	検体保存	患部ぬぐい液： <b>絶凍</b>	患部ぬぐい液：室温
	検体取り 扱い方法	<p>患部をぬぐった滅菌綿棒を、1mLのPBSまたは生理食塩水が入った滅菌ポリスピッツ(59)に入れ、そのまま<b>凍結保存</b>してください。</p> <p>他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。</p> <p><b>絶凍</b></p>	<p>滅菌綿棒にて患部をぬぐい、指定の容器に入れ、そのまま室温にてご提出ください。他項目との重複依頼は避けて下さい。</p> <p>本検査方法はコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取扱いに十分ご注意ください。</p> <p><b>室温</b></p>
容器写真			

以上